

応募方法のご案内

ニッセイ名作シリーズ 2026 ミュージカル

『ジャック・オー・ランド 〜ユーリと魔物の笛〜』

※当作品はニッセイ名作シリーズ日生劇場公演として2023年より上演しています。

上演時間：約110分(休憩1回含)

公演日程

6月	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
公演		10 00		休 演	休 演		10 00	10 30	10 00		休 演	休 演			10 30	10 00		休 演	休 演		10 00
	13 00	13 30	13 00			13 00	13 30		13 30	13 00			13 00	13 00		13 30	13 00			13 00	13 30
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16					
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
公演	10 30	10 00		休 演	休 演			10 30	10 00		休 演	休 演		10 00	10 30	10 00					
		13 30	13 00			13 00	13 00		13 30	13 00			13 00	13 30		13 30					

※公演日程は鑑賞校の応募状況等により、一部変更となる場合がございます。

鑑賞対象

小学校3～4年生

鑑賞料

無料

応募方法

以下の「応募先」よりアクセスして、Webフォームにてご応募ください。
後日(※2026年1月中旬を予定)、eメールにて鑑賞日をご連絡いたします。
school@nissaytheatre.or.jpからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。
希望校が多数の場合は、抽選にて決定いたします。

応募メ切

2025年12月12日(金)

応募先

<https://www.nissaytheatre.or.jp/form/meisaku/>



- 雨天時・熱中症予防対策として、劇場建物内の昼食スペース(臨時)がご利用可能です。
天候にかかわらずご利用いただけますので、ご希望の際は応募フォームからお申込みください。
- 日生劇場には駐車場・大型バスを駐車できるスペースはございません。
貸切バスでご来場される場合には、バス会社・旅行代理店に駐車場の手配をご依頼ください。



会場 日生劇場：東京都千代田区有楽町1-1-1



千代田線／日比谷線／都営三田線 日比谷駅A13出口(階段)より徒歩1分
有楽町線 有楽町駅より徒歩10分
丸ノ内線 銀座駅C1出口(階段)より徒歩10分



山手線／京浜東北線 有楽町駅日比谷口より徒歩10分

【当鑑賞教室に関するお問合せ先】

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場] Mail : school@nissaytheatre.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1
ホームページ <https://www.nissaytheatre.or.jp>



日生劇場がお届けする
小学生のための芸術鑑賞教室

ニッセイ名作シリーズ 2026



ポイント1

鑑賞料は**無料**

ポイント2

鑑賞対象は
小学校**3～4**年生

ポイント3

演目は劇団四季の
ミュージカル
『ジャック・オー・ランド
〜ユーリと魔物の笛〜』

詳しくは内側を
ご覧ください

【応募メ切】
12月12日(金)

日生劇場
NISSAY THEATRE

主催・企画：公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]
制作・上演：劇団四季
後援：東京都 協賛：日本生命保険相互会社

OPEN

ニッセイ名作シリーズとは…

公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]は、日本生命保険相互会社の協賛により、本格的な舞台芸術に小学生を無償で招待する「ニッセイ名作シリーズ」を展開しています。

これは、1964年から50年間にわたって小学校6年生をミュージカルに招待してきた「ニッセイ名作劇場」を前身とするもので、2014年からは上演ジャンルを物語付きクラシックコンサートや人形劇などに拡大し、「ニッセイ名作シリーズ」として取り組みを発展させてきました。

毎年、日生劇場はもとより全国の劇場で様々なジャンルの作品を上演し、事業開始からの累計招待者数は800万人を超えています。

日生劇場公演では小学校3～4年生を対象とした劇団四季制作のミュージカルを上演し、全国各地の劇場では、ミュージカル・音楽劇・人形劇・物語付きクラシックコンサートなど、ニッセイ文化振興財団制作の多彩なジャンルの作品を上演しています。

今後も、これからの社会を支える児童の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むために、全国各地で優れた舞台芸術に触れる機会を提供していきます。



ニッセイ文化振興財団について

当財団は、日生劇場を中心として「すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、わが国の芸術文化の振興に寄与する」ことを事業目的として、日本生命保険相互会社の出捐により1973年11月に設立され、2009年11月に公益財団法人へ移行しました。財団設立以来、「届ける(優れた舞台芸術を制作、上演する)」「育む(青少年の豊かな情操を育てる)」「支える(舞台芸術を支える人材を育成する)」という3つの基本理念のもと、活動を行っています。

日生劇場について

1963年10月、日本初の引越し公演となったベルリン・ドイツ・オペラの「フィデリオ」で東京・日比谷に開場。以来、数々のオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート等の貸劇場公演に加えて、ニッセイ名作シリーズ、NISSAY OPERA、日生劇場ファミリーフェスティバル等の自主制作公演も毎年開催し、大人から子どもまで幅広いお客様にご来場いただいています。



ニッセイ名作シリーズ 2026 ミュージカル

『ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～』

※当作品はニッセイ名作シリーズ日生劇場公演として2023年より上演しています。

両親を亡くし一人ぼっちだった人間の男の子ユーリが、
同じように一人ぼっちで生きている魔物コブと出会い、
信じる心が通じ合うことで、世界が大きく動き出し――。
ふたりの友情が生み出す物語を通して、生きていく上で大切なものを伝えます。



♪ 2023公演の
映像公開中！

- ★ ニッセイ名作シリーズのためにつくられた劇団四季のミュージカル
- ★ 原作は映画監督 山崎貴氏とアニメーター 郷津春奈氏が初めて手掛けた絵本
- ★ 描かれるテーマは「種族を超えた友情」や「信じる心をもつことの大切さ」

ストーリー

山の上にある魔物の街。
大きなお城に住む魔物の王ジャック・オーは、人間にだまされたせいで“信じる心”を失い、固く心を閉ざし、人々から恐れられていました。一方、人間の男の子ユーリは、ある日、目覚めなくなってしまった女の子エルを助けるため、不思議な力を持つ「魔物の笛」を手に入れようと、魔物の街にしのびこみます。道中、魔物のコブと知り合い、お互いに親しみをを感じる二人。しかし、笛を探していることが、持ち主であるジャック・オーにバレて、捕まってしまう。「笛を貸す代わりにコブを置いていけ」と言われるユーリ。ユーリを信じ、自ら残ることを選ぶコブ。「必ず帰る」と約束して城を出たユーリでしたが……。

原作:「ジャック・オー・ランド ユーリと魔物の笛」
(作・山崎 貴、絵・郷津春奈、企画監修・千葉伸大 2017年ポプラ社刊)
制作・上演:劇団四季



児童&教員の声

最初にジャック・オーが出てきた時は少し怖かったけど、途中で慣れてからは楽しかった。ユーリが魔物の笛を持って帰ってくるのかドキドキした。演技もすごかったけど歌はもっとすごいと思った。(3年男子)

コブがジャック・オーのもとに自ら残ることを選んだ場面が心に残った。信じているからこそ待てるぞというコブの気持ちと、信じられているからこそ困難にも立ち向かえるぞというユーリの気持ちを感じた。そうして生まれた友情や勇気はとても強いと思った。(4年女子)

友情、信じる心、約束を守るなど、大切なメッセージが子どもの心に届いたので良かった。学校では学ぶことのできない貴重な体験だった。弱い心と戦う場面、正しいことやりたいことの間で葛藤する場面、子どもには身近な内容が目の前で繰り広げられることで、自分事として捉えられると思った。(教員)

子どもたちが日ごろ触れているメディアを通じた世界とは違う、生の迫力を間近で、体全体で感じられたことがすばらしかった。舞台づくりに関わっているすべての人々の熱い想い、本物に出会えたことが子どもの心を揺さぶっていた。思わず声を出し、リズムをとって手拍子、拍手をしている姿に担任としても感動した。(教員)

※児童・教員からいただいた声のなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。